

第48回「議員と語ろかい」報告書

地域テーマ型 1班(No.1)

開催日	令和7年1月23日(木曜日) 19時00分 ~ 20時30分		
開催場所	溝辺総合支所 第1・2会議室		
団体名	個人参加(溝辺地区)	参加 人員	17人 (男 17人:女 0人)
出席議員	今吉 直樹、松下 太葵、山口 仁美、有村 隆志、仮屋 国治、久保 史睦、鈴木 てるみ、池田 綱雄 ※順不同		
役割分担	班長(今吉 直樹)、副班長(松下 太葵)、記録係(有村 隆志)		
テーマ及び 具体的な内容	どうする水資源 ① 竹子共生会の簡易水道は、整備から50年以上がたち施設の老朽化で維持管理に今後は多額の費用が見込まれ継続的運営が厳しい。管理を市に移管したい。 ② 家畜の災害時や停電時の飲料水の確保対策について ③ 災害時等の水確保のための災害井戸について。		

意見交換での 主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆竹子共生会の簡易水道は、整備から50年以上がたち施設の老朽化で維持管理に今後は多額の費用が見込まれ運営が厳しいことから、その課題解決に数年前から取り組み、管理を市に移管したいと話し合いをしてきたが、進んでいない。市に管理移管できない課題を1つ1つ解決して前へ早く進めて欲しい。
	◇竹子簡易水道の管理を市に移管することについて、市が移管を受け入れない理由を調査したい。市にこれまでの交渉状況を確認し、管理移管が早く進むよう一緒に取り組みたい。
	◆畜産農家は、多くの水を使って家畜生産をしている。災害時災害協定などでタンクローリー車での給水や水タンク設置、井戸設置などの支援をすべきではないか。
	◇市では、福山で給水車での対応をした実績がある。
	◆以前、2つの畜産農家に1つの井戸を掘る補助金があったと記憶している。現在、井戸は老朽化して使えないが掘り直せば使える。それに対して支援はできないか。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇肉用牛組合には畜産農家が集まっているので、同組合をいかして、市、農家、企業で何かできるのか。対策を考えてみたい。

◆防災井戸の必要性が全国的に知られてきている。災害時には水が一番大事だと考える。防災井戸を設置できないか。

◇市では関心がまだ低いため、今後も設置に向け進めたい。

その他の意見

◆ 市内に英検塾をつくってほしい。

◆ 道路の中央線と横断歩道の白線を引き直してほしい。

◆ 麓第一土地区画整理区域の公園には日陰になる屋根がない。設置してほしい。

◆ 市職員の災害時の勤務対応を明確に決めるべきでは。

意見交換での主な意見等